



ノルウェージャンクルーズライン

最新鋭新型客船ノルウェージャン ルナをお披露目

-2026年3月にデビューするノルウェージャン ルナのクルーズ販売開始
初就航クルーズは世界クルーズの中心地マイアミ発カリブ海7泊クルーズ

船体アートはストリートアーティストの ELLE が制作
モチーフは海に反射する月明かり



2024年9月30日(東京) -世界クルーズ旅行のイノベーター [ノルウェージャンクルーズライン](#) が、プレミアムクラス船の進化形である新型ノルウェージャン ルナの販売を開始しました。

ノルウェージャン ルナは、NCL 最新鋭船隊の21隻目の船となります。2026年4月4日から2026年11月まで、太陽の下で楽しめるマイアミ発着の初就航クルーズを実施。初就航シーズンの [カリブ海](#) クルーズは、ホンジュラスのロアタン、メキシコのコスタマヤとコスメル、そしてブランド所有のリゾートデスティネーションであるベリーズのハーベストケイへの2クルーズでスタート。続く [東カリブ海](#) への7泊クルーズは、ドミニカ共和国のプエルトプラタ、英領バージン諸島のトルトラ、米領バージン諸島のセントトーマス、



NORWEGIAN

CRUISE LINE®

バハマにある NCL プライベートアイランドで 2025 年後半に新しい棧橋が完成するグレートスターラップケイに寄港します。

ノルウェー جان ルナは全長約 322 メートル、総トン数 15 万 6,300 トン、1 室 2 名利用で約 3,550 名を収容。プリマクラス船の [ノルウェー ジャン プリマ](#) と [ノルウェー ジャン ビバ](#) よりサイズとキャパシティが 10 パーセント増えます。2025 年 3 月竣工予定の最新新造船 [ノルウェー ジャン アクア](#) とは双子の姉妹船となりますが、両船は現在、イタリアの造船会社フィンカンティエリで建設中。船内のインテリアデザインは世界的な建築事務所の AD アソシエイツ、ピエロ・リッソーニ、ロックウェル・グループ、SMC デザイン、Studio Dado が手がけます。

ノルウェー ジャン クルーズライン 社長 デビッド・J・ヘレラは、「ノルウェー ジャン ルナは月と海の潮の満ち引きの関係にインスピレーションをデザインされており、姉妹船ノルウェー ジャン アクアと完璧に対をなすものです。ノルウェー ジャン ルナがデビューを飾るのは美しいトロピカルデスティーション・カリブ海へのクルーズです。最新最先端設備仕様の真新しい船で、皆様に楽しんでいただける価値あるクルーズをご提供するという私共のコミットメントを実現でき、大変うれしく思います。お客様により多くのものを見ていただき、より多くのことをしていただき、船内でより多くのことを楽しんでいただき、最終的にはクルーズ休暇をより充実したものにさせていただくことが重要です。ノルウェー ジャン ルナを体験していただくのが待ちきれません」と語っています。

ノルウェー ジャン クルーズライン アジア太平洋地区ヴァイスプレジデント兼マネージングディレクターのベン・エンジェルは、「ノルウェー ジャン ルナは、私共の保有船とプリマプラスクラスの進化を象徴するものです。多様なダイニングオプションからラグジュアリーなヘルス&ウェルネス施設、ワールドクラスのエンターテイメント施設まで、どれをとっても日本のお客様に喜んでいただけるはず。400 以上の目的地からお選びいただける、夢のような休暇をお過ごしいただくための選択肢をこれからも増やしていきます」としています。



NCL は、ノルウェー ジャン ルナの船体デザインで高い評価を得るストリートアーティスト ELLE とパートナーシップを結ぶ

NCL
NORWEGIAN
CRUISE LINE®

ノルウェーijan ルナの船体アートは、ナイキ、リーボック、ラルフ ローレンなどの人気ブランドと提携し高い評価を得ている、カリフォルニア州ナパ出身のストリートアーティスト ELLE による鮮やかな夢の風景です。「ラ・ルナ」と題されたこの作品は、人類が月の満ち欠けと本質的に結びついているように、人類と宇宙の神聖な力との根深いつながりを視覚的に探求しているものです。船首に誇らしげに掲げられた「ラ・ルナ」は、乗客を特別な航海と壮大な発見の旅へと導きます。

ELLE は、「全保有船の素晴らしい船体アートで知られるノルウェーijanクルーズラインとコラボできることをうれしく思います。この作品が完成したら、322メートルの作品が海を渡り、世界中を旅し、多くの人に見てもらえるなんて、信じられないような経験です」とのコメントを寄せています。

ノルウェーijan アクアのアップスケールなデザインと仕様がそのまま採用されるノルウェーijan ルナには、アクアで来年先行デビューする世界初のジェットコースターとウォータースライダーのハイブリッドで NCL だけのアクアスライドコースターを搭載。洋上最長・最速のスライダーで乗客はスリル満点の爽快感を味わえます。デュアルスライドで冒険好きな乗客を 2 つの異なるコースに誘う磁気リフトを装備のこのアトラクションでは、船内の煙突を中心に、3 つのストーリーが展開されます。デジタルスポーツコンプレックスのグローコートは、昼間は様々な乗客参加型アクティビティの場、そして夜はナイトクラブに変身。これまで乗客に人気だったザ・ドロップ(10階の高さから滑り降りる NCL だけのフリーフォールスライダー)と無料アクティビティが楽しめる屋外のザ・スタジアムも設備されます。



ノルウェーijan ルナの2つの異なるコースに誘う
NCL エクスクルーシブのアクアデュアルスライドコースター

ノルウェーijan ルナには、姉妹船ノルウェーijan アクアで初お披露目となることが発表されたカードキーでしかアクセスできないプレミアムコンプレックス「ザ・ヘブン by ノルウェーijan」も採用。豪華な 3 ベッドルームのデュプレックス ヘブンスイートが新たに加わります。



NORWEGIAN CRUISE LINE®

2つのフロアにわたる広々としたスイートは、独立したリビングとダイニングのエリア、3バスルーム、バルコニー、3ベッドルームの仕様。ザ・ヘブンの乗客には24時間バトラーサービスと専任のコンシェルジュチームがつき、広大なサンデッキ、船尾を見渡すインフィニティプール、ガラス張りのサウナとコールドルームを完備した屋外スパ、2つのホットタブ、プライベートラウンジ、希少なスピリッツやヴィンテージを揃えた専用バーを利用できます。

また、ノルウェー جان ルナでは、船内をぐるりと取り囲む4,300平方メートルの屋外通路「オーシャンブルバード」、大人専用の屋外ラウンジ「バイブビーチクラブ」、海を一望できる「インフィニティビーチ」、日光浴用のデイベッドを備えた広々としたアッパープールデッキなど、NCLが誇るさまざまなゲストエクスペリエンスがグレードアップして登場します。



ノルウェー ジャン ルナ船内の広々とした2フロアの3ベッドルームデュプレックススイート

船内の食事については、伝統的なものから独創的なものまで多彩なメニューを取り揃えたタイ料理専門レストラン「スコータイ」や、植物ベースの「プランテリー」を含む10種類のフードステーションを備えた「インダルジフードホール」など、プリマプラスクラスの新しいダイニングやバーを採用。「キャグニーズステーキハウス」、高級フレンチの「ル・ビストロ」、高級イタリアンの「オンダ・バイ・スカルペッタ」など、NCLを代表するスペシャリティレストランや無料レストランも維持されます。バーやラウンジとしては、「ウイスキーバー」、「ベルヴェデーレバー」、そして2024年度バイブビスタアワードの「ベストビバレッジメニュー」賞を受賞したNCLのモダンなセイル&サステインカクテルバー「メトロポリタン」も辛口派にはうれしい設備です。

ノルウェー ジャン ルナのゲストエクスペリエンス詳細は、新年早々にも披露される予定です。

ノルウェー ジャンクルーズラインのクルーズの予約と詳細は <https://www.ncl.com/jp/ja/>



ノルウェージャンクルーズラインについて

ノルウェージャンクルーズラインはその 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェージャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、450 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェージャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェージャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は @NorwegianCruiseLine。Twitter は @CruiseNorwegian。

画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア